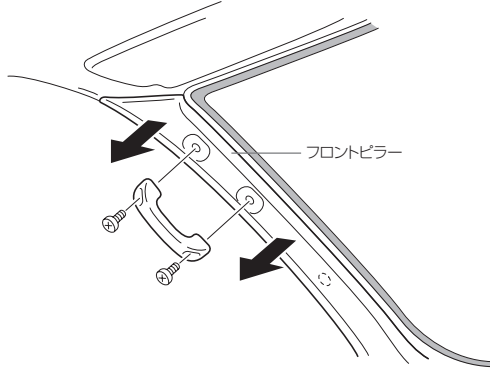


VICS アンテナ(フィルムタイプ)の貼り付けについて

1 内張りを取り外す

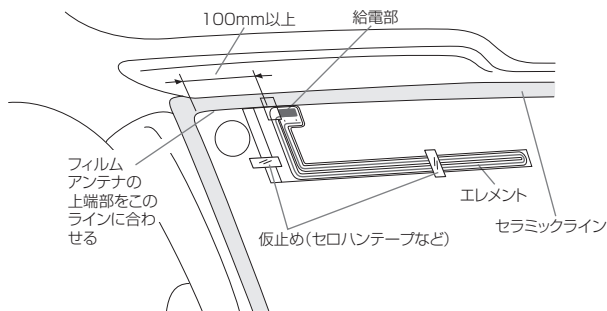
(1)フロントウィンドウ横のフロントピラー(左)を取り外す。

- フロントピラーは、クリップや、ネジなどで固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。

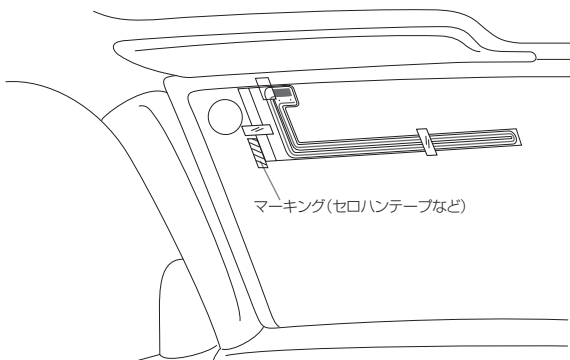


2 貼り付け位置について (表面参照)をよく読んで貼り付け位置を決める

(1)エレメントの給電部を上にし、セラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープで仮止めする。



(2)エレメントの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングしてください。



3 エレメントを貼り付ける

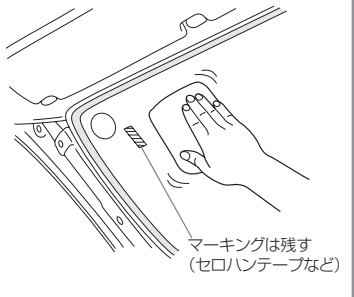
※マーキングは残して、仮止めしたフィルムアンテナを取り外してから行ってください。

エレメント貼り付けについてご注意

- エレメントのはり紙は、エレメントののりの強さとフィルムののりの強さでバランスをとっていますが、エレメントが細いため、まれに移行がうまくいかないことがあります。その場合はあせらず、一度元の状態に戻し、強く押し付けてからやり直してください。
- エレメント貼り付け直後(3時間以上)は貼り付けたエレメントにガラスクリーナーなどを吹きつけたり、エレメントの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エレメント上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布などを使用し、エレメントに傷が付かないよう注意してください。

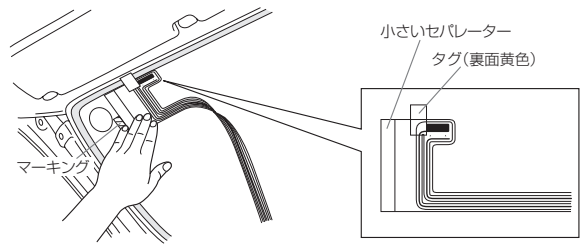
3 (1)フロントウィンドウの汚れ(ゴミ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーで拭き取る。

- クリーナーできれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。
- ※フロントウィンドウが乾かないうちは貼り付けしないでください。エレメントがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。
- 冬場などは車内ヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。
- ※作業中は、車のキースイッチをOFFにしてください。



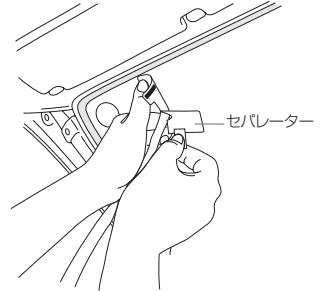
(2)フィルムの端をガラスに付けて固定する。

- 小さいセパレーターをはがして、マーキング(セロハンテープ)に合わせて貼り付けてください。



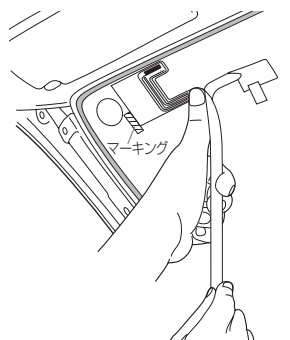
(3)タグ(黄色)を持ってゆっくりとセパレーターをはがす。

- フィルムにエレメントが移っていることを確認しながらゆっくりと軽くはがしてください。
- ※エレメントがセパレーター側に残った場合は、フィルムを元に戻してエレメント上を押しつけて、再度セパレーターをはがしてください。(最初はフィルムに移っていても途中からセパレーターに残る場合もあります。その場合も同様に押し付けてから、はがしてください。)
- セパレーターを急にはがしたり、極端にゆっくりはがしたり、フィルムを強く曲げたりするとエレメントが断線するおそれがあります。
- ※セパレーターをはがしたあとは、のり面(エレメント黒色の方側)に指紋やホコリなどがつかないように注意してください。エレメントが貼り付かなくなります。



(4)フィルムを軽く引っ張りながら貼り付ける。

- フィルムがたるむと空気が入るため、指で強く押し付けながらマーキング(セロハンテープ)に合わせてガラスに貼り付けて下さい(途中で止まると白くにごります)。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。



一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。

- セパレーターは指で押し付ける過程で押し出されるので、軽くはがしたあとは触れずに貼り付けることができます。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。

(5)全面貼り付け後、エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残りにくいので念入りに加圧してください。
- ※加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。
- 加圧はエレメントを中心にしてください。
- 指での加圧が困難な場合は樹脂ヘラなどを使用してください。
- フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼り付け部に気泡(白っぽく見えます)が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。

